

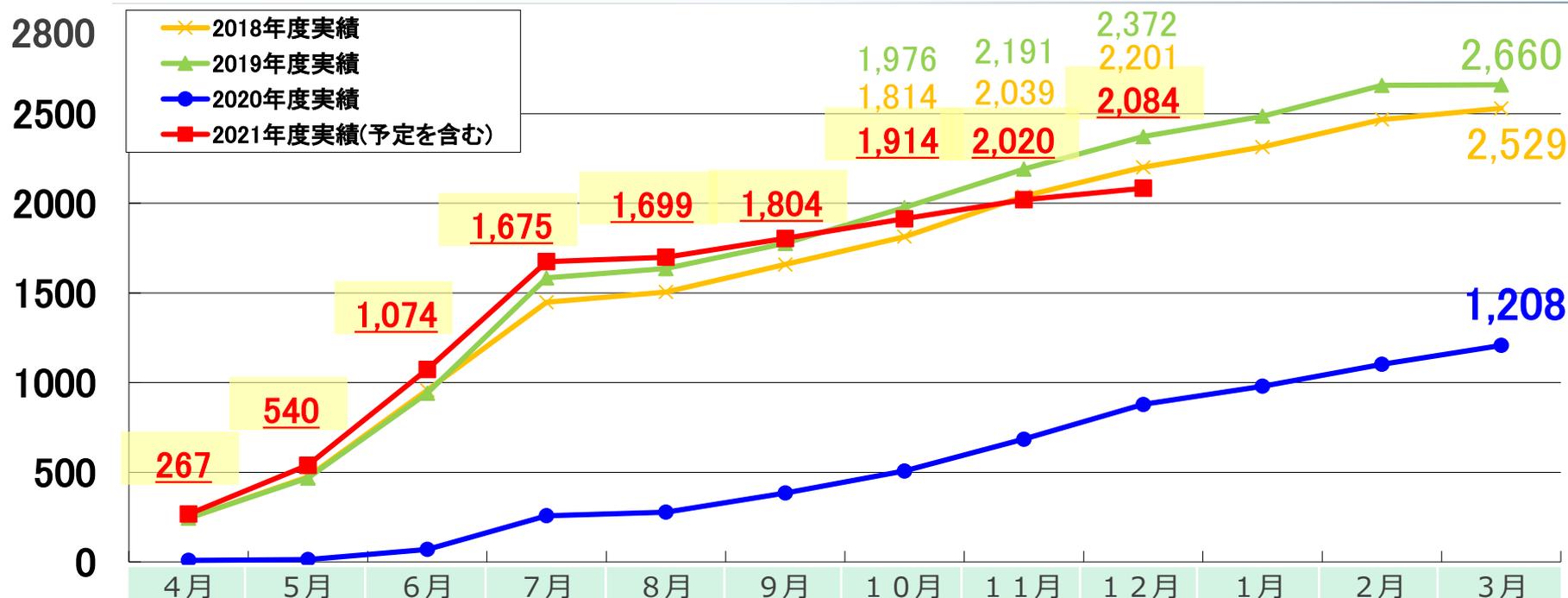
子どもたちの情報リテラシーを高めるために

- 「e-ネットキャラバン（e-ネット安心講座）」
- 情報通信安心安全推進協議会「情報通信に関する標語」
- ネット社会の大人の課題⇒子どもたちの課題
（フェイクニュース、ネット詐欺など）

『e-ネットキャラバン（e-ネット安心講座）』

対象	児童・生徒向け			保護者・教職員向け
	小学生(中学年)向け	小・中学生向け	中・高校生向け	
	小学3年生～4年生	小学5年生～6年生 中学1年生(1学期)	中学1年生～3年生 高校1年生～3年生	保護者・教職員
				
講座時間	45分	50分	60分～90分 (スマホ利用ルール作りや フィルタリングも)	
内容	「危険の実態（事例）」「予防・対策」「心構え」 ①ネット依存、 ②ネットいじめ、 ③不確かな情報の拡散、 ④誘い出し・なりすまし、 ⑤個人情報、 ⑥ネット詐欺、 ⑦著作権・肖像権、 + まとめ・予防策			
費用	無料			

『e-ネットキャラバン』実施件数（累計）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2018年度	244	474	958	1,448	1,505	1,659	1,814	2,039	2,201	2,314	2,467	2,529	
2019年度	245	468	941	1,584	1,636	1,776	1,976	2,191	2,372	2,485	2,657	2,660	
2020年度	放	2	2	3	7	8	11	12	15	20	23	25	33
	戸	-	-	1	1	1	2	3	5	15	19	33	45
	V	-	-	-	-	-	-	-	-	13	40	79	117
2021年度		267	540	1,074	1,675	1,699	1,804	1,914	2,020	2,084			
	放	19	32	62	94	94	99	111	112	113			
	戸	23	46	84	151	154	165	169	178	181			
	V	58	118	219	308	317	337	347	348	357			

【受講者数】 2018：約47万人、2019：約51万人、2020：約13万人、2021：約31万人（8/27現在）

『e-ネットキャラバン』模様

学校での出前講座（コロナ前は大半）



オンライン講座（コロナ禍で増加）



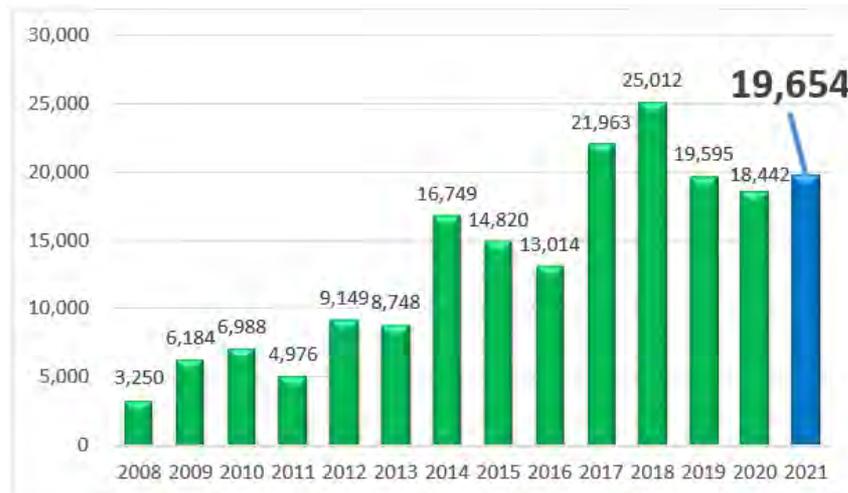
1) 活動目的

ネットを安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティ等に関し、標語を募集。「総務大臣賞」等の受賞作を用い啓発活動を展開し、意識向上を図る。

2) 応募状況・活用事例

- ・毎年約**2万件**の応募
- ・授業の補助テーマや宿題などでの活用事例も
- ・**認知不足**（全国小中高 計3.5万校）

【今年度表彰式典（オンライン開催）】



2021年度ネット安心安全標語の受賞優秀作品



総務大臣賞

- <学校> **離れよう 怪しいサイトに ディスタンス** 東京都立美原高
<個人> **悪口は ネットもリアルも 傷つくよ** 水谷明日香（四日市市立三重小）

協議会長賞

- <児童> **ウイルスは ネットもコロナも まず予防** 市川善志郎（加須市立不動岡小）
<生徒> **送らない 自分が言われて いやなこと** 沖津泰雅（神戸学院大附高）
<一般> **スマホ時間 減らして増やす 家族時間** 西林香菜（和歌山県）

日本PTA賞 **「やめられない」そうなる前に 手をとめて** 久保楓花（むつ市立第三田名部小）

同 **送るなら 自分も元気に なる言葉** 生田あずみ（岡山市立高島中）

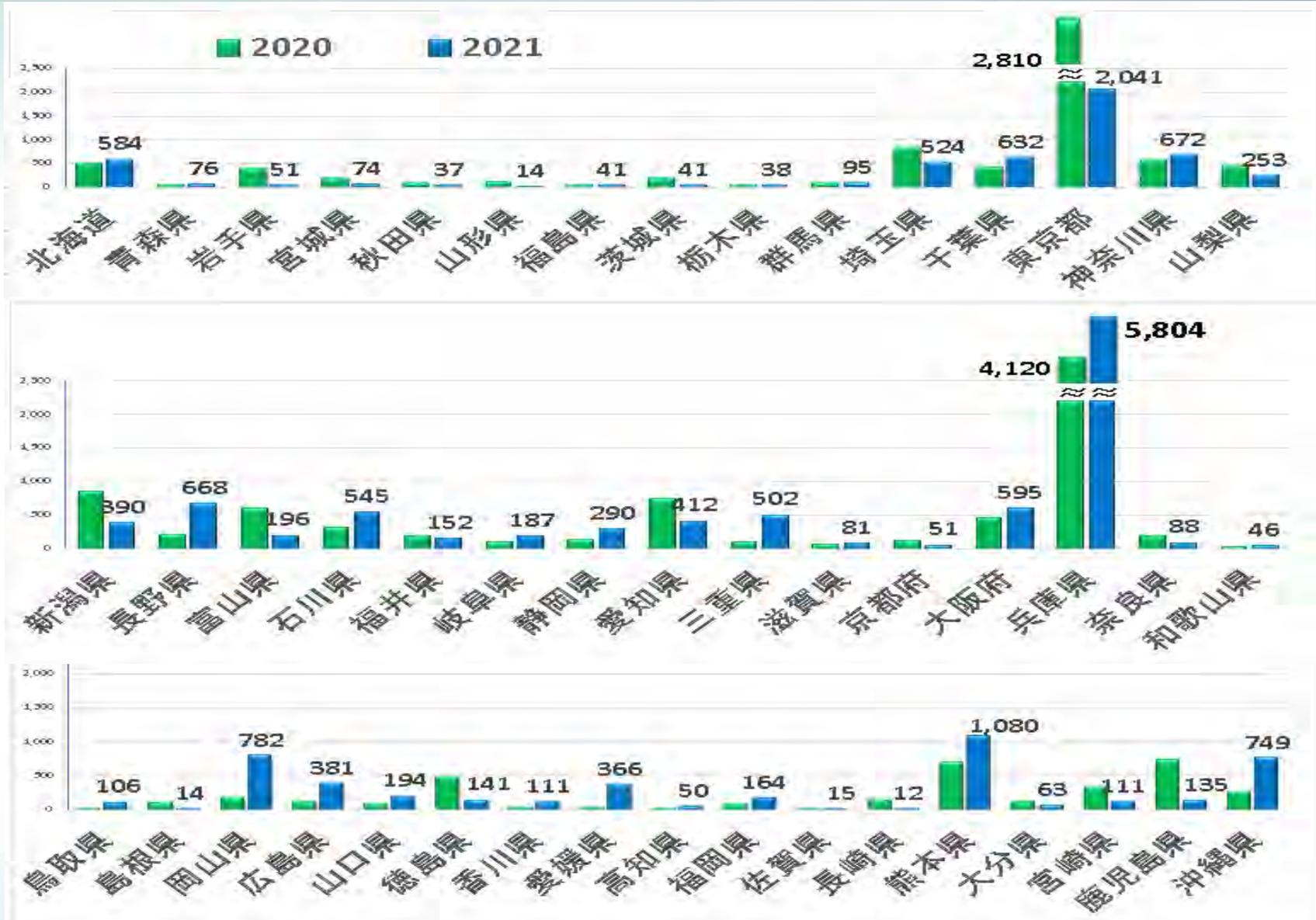
全国高P連賞 **「これくらい」 人生狂わす 指一本** 西本莉空（帯広大谷高）

全附P連賞 **目をあげて あなたの友達 スマホだけ？** 奈良妃春（神戸学院大附高）

ネット社会の健全な発展部会特別賞

- <児童生徒> **邪魔じゃない フィルタリングは 親の加護** 内藤真琴（兵庫県立福崎高）
<一般> **顔出して 言える言葉を 書き込もう** 上條直子（東京都）

標語応募状況（都道府県別）



更なる課題

< 1 > 既存の活動の抱える課題

- 教育現場の本来ニーズにマッチできているか（教育委員会独自の講座も）
- 「e-ネットキャラバン」の受付、講師手配、授業充実
- 標語活用の拡がりが限定的

< 2 > トラブル未然予防とトラブル対処の違い

< 3 > ネット社会でのフェイクニュースやネット詐欺など⇒大人も子供たちも（知っておきたい「フィルターバブル」「ミスリード」）

方向性

- 1) 活動目的を共有できる団体、自治体、企業等との連携強化
- 2) 「e-ネットキャラバン」活動のプラットフォーム化
（受付・手配処理の簡略化、豊富なコンテンツ、オンライン授業の充実など）
- 3) 授業における標語作成の活用事例展開
- 4) トラブル未然予防とトラブル対処の**両面支援**
- 5) **情報リテラシー教育の充実**（多角的な情報源と多様な付き合い）
- 6) **家庭**における利活用や啓発に関する**支援**